

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 朝倉市の快適な生活環境の整備																									
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度 (3年間)	交付対象	朝倉市																							
計画の目標	下水道の整備促進により、生活環境の改善や公共用水域の水質保全及び、浸水対策を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。																									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率を31.4% (H28)から34.9% (H30)に向上させる。 ・下水道による都市浸水対策の達成率を18.1% (H28)から19.4% (H30)に向上させる。 																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"> 下水道処理人口普及率% = (下水道を利用できる地域の人口(人)) / (行政人口(人)) 下水道による都市浸水対策達成率 (%) = (浸水対策完了済み区域の面積 (ha) / (浸水対策を実施すべき区域の面積 (ha)) </td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 (H28当初)</td> <td>中間目標値</td> <td>最終目標値 (H30末)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>31.4%</td> <td>-</td> <td>34.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>18.1%</td> <td>-</td> <td>19.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table>			下水道処理人口普及率% = (下水道を利用できる地域の人口(人)) / (行政人口(人)) 下水道による都市浸水対策達成率 (%) = (浸水対策完了済み区域の面積 (ha) / (浸水対策を実施すべき区域の面積 (ha))	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)		31.4%	-	34.9%			18.1%	-	19.4%			-	-	-	
下水道処理人口普及率% = (下水道を利用できる地域の人口(人)) / (行政人口(人)) 下水道による都市浸水対策達成率 (%) = (浸水対策完了済み区域の面積 (ha) / (浸水対策を実施すべき区域の面積 (ha))	定量的指標の現況値及び目標値				備考																					
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)																							
	31.4%	-	34.9%																							
	18.1%	-	19.4%																							
	-	-	-																							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,050 百万円	A 1,050 百万円 B 0 百万円 C 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30			
A228-1	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	汚水	新設	筑後川中流右岸処理区汚水幹線整備	汚水幹線 L=514m	朝倉市					185	
A228-2	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	汚水	新設	筑後川中流右岸処理区汚水枝線整備	汚水枝線 A=41.3 ha	朝倉市					219	
A228-3	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	雨水	新設	堤排水区雨水幹線整備	雨水管渠 L=143m	朝倉市					56	
A228-4	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	雨水	新設	陣屋川排水区雨水管渠整備	雨水管渠	朝倉市					5	
A228-5	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	汚水	新設	朝倉処理区汚水枝線整備	汚水枝線 A=24.5 ha	朝倉市					429	
A228-6	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	処理場	改築	朝倉中央浄化センター水処理増設	水処理増設	朝倉市					166	
												合計	1,050			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30				
												合計	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30				
												合計	0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

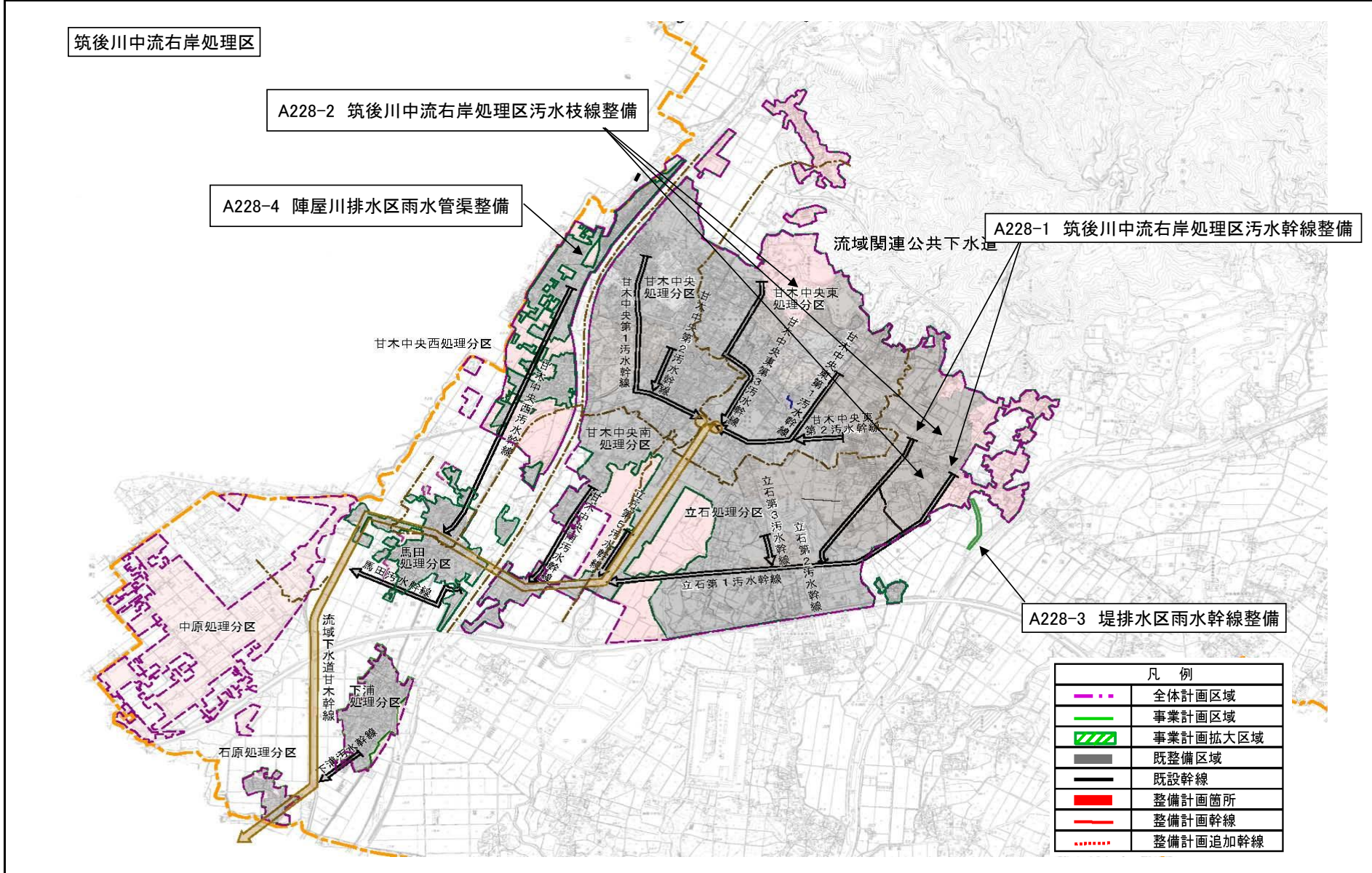
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況					<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口普及率が、31.4%から38.6%となり、5,245人が下水道を使用できるようになった。 ・下水道による都市浸水対策達成率を18.1%から19.4%に増加させたことで、家屋等浸水被害の低減に繋がった。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道処理人口普及率)	最終目標値	34.9%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成				
		最終実績値	38.6%						
	指標② (下水道による都市浸水対策達成率)	最終目標値	19.4%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成				
		最終実績値	19.4%						
		最終目標値				目標値と実績値に差が出た要因			
最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)									

3. 特記事項 (今後の方針等)

平成28年度から平成30年度までの3年間で社会資本総合整備計画による下水道事業を行い、定量的指標を達成することが出来た。今後も汚水の未普及対策と雨水による浸水対策を進めていきたい。

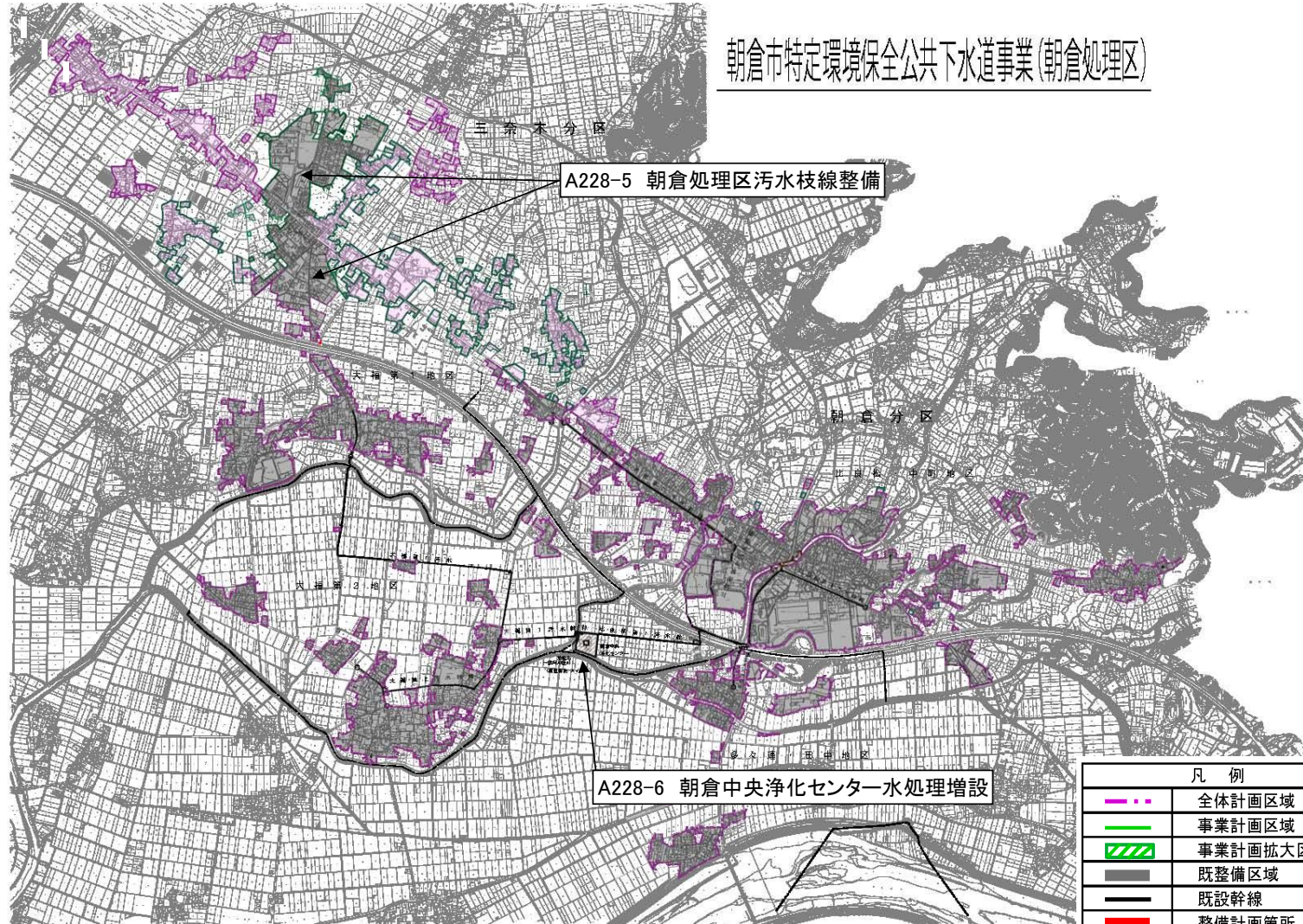
水の安全・安心基盤整備（図面）

計画の名称	1 朝倉市の快適な生活環境の整備		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）	交付対象	朝倉市



社会資本整備総合交付金（図面）

計画の名称	1 朝倉市の快適な生活環境の整備	交付対象	朝倉市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度（3年間）		



朝倉市特定環境保全公共下水道事業(朝倉処理区)

A228-5 朝倉処理区污水枝線整備

A228-6 朝倉中央浄化センター水処理増設

凡 例	
	全体計画区域
	事業計画区域
	事業計画拡大区域
	既整備区域
	既設幹線
	整備計画箇所
	整備計画幹線
	整備計画追加幹線